

令和元年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和2年2月20日（木）18:30～20:00
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者 9名…岩堀、石塚、佐久間、妻沼、藤野、三澤、小池、小串、小澤
欠席者 1名…川島
事務局 2名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者 2名…NPO法人YMCA コミュニティサポート 沼崎、佐々木
傍聴者 0名

配布資料 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
2 のたろんフェア 2020 報告
3 2020年度事業方針計画（案）
4 サポートセンターデータベース登録・新規異動団体
5 令和2年度運営懇話会日程（案）

1 報告事項

1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から資料1に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・利用者数については、これまでは前年度を若干上回っているが、昨今のコロナウイルスによる影響で今後の利用が落ちることを危惧している。
- ・コピー機については微増となっているが、11月にカラーコピーの特定の団体による大口の利用があったことが主な理由である。
- ・印刷機については、ネット印刷への移行が結果に影響していると思われる。
- ・活動紹介コーナーについては、センターとフロントの2か所の運用となっているが、ほとんど空きがない状況で埋まっている。
- ・利用者の声については、活動時の声と印刷機の音の問題に対する意見があったが、施設の特徴でもあるオープンスペースであることから、音についてはある程度ご理解をいただく部分もあるが、声についてはスタッフに申し出てもらえれば対応するようにしている。ただ、音量については耳が遠く自分の声の音量が分からないため大きくなってしまっていることや体の向きなどによる聞こえ方の問題等の事情もあるようである。
- ・印刷機やロッカーの配置については現状から変更の予定はないため、音を気にする団体にはなるべく施設内奥の音の影響が比較的少ないと思われる場所を案内する等、可能な範囲で対応している。
- ・印刷機については当初利用者用として予備機を含め4台あったが、予備の1台は三浦の交流センター開館に伴い三浦に移した経緯があった。その後1台故障したため、稼働印刷機は2台となったり利用者に迷惑を掛けた時期もあったが、現在故障していた印刷機についても部品交換等による修理が終わり現在では3台が稼働し、通常どおり利用いただいている。

(市民生活課：久里浜・追浜について)

- ・利用者数は4月から1月までの実績ではあるが昨年度比で久里浜は89人の増。追浜は193人の減。印刷機については、ネット印刷が普及しつつあることによる減傾向であり、コピー機は設置場所が複数あることによる利用の分散と推測される。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・活動紹介コーナーの利用状況の中で展示内容の横にある「1」と「2」は何か。
→その団体の展示の回数である。1団体2回までが原則となっているので参考までに記載している。
(指定管理者)

1－(2) のたろんフェア 2020 報告

指定管理者から資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・当日の参加団体数は104団体。2日間の来場者は5,680人。前年比で1,000人以上の増。
- ・今回はリドレにおいてPRイベントを行いこちらも盛況であったことも来場者の増につながったと思われる。
- ・今年度は、展示に関してパネルを使わないという大きな見直しを行った。参加団体からの意見についてはおおむね開放感があってよかったという声が多かった。
- ・見通しが良いことにより他の団体と交流が図れたという意見もあり、当初想定していなかった効果もあった。
- ・パネルがないことにより、各団体ともに工夫を凝らした展示がされていた。
- ・準備と撤収はこれまでと比較してもかなりスムーズに行えたとし、安全面についてもリスクを減らすことができた。
- ・次回以降パネルをどうするかについては、参加団体からのアンケート結果を踏まえ次期の実行委員会とともに検討したい。
- ・フリーマーケットについては、希望団体が当初の予定よりも多くなってしまったが、レイアウトの見直しなどにより参加希望団体をすべて配置した結果、手狭になってしまった。
- ・2日目は産業交流プラザまつりと協力し、双方のイベントの案内を行う等連携をした。
- ・1月末にYデッキ下で実施予定であったPRイベントは雨で中止となったが、実行委員長発案により有志によるチラシ配布を行った。
- ・キッズコーナーの場所で行ったミニ体験や活動紹介については賛否両論あった。
- ・のたろんフェア参加団体報告会及び市民活動団体交流会は、コロナウイルスの感染防止に観点から中止となった。
- ・写真コンクールは投票場所を見直した結果投票数は過去最高となった。
- ・実行委員会から20周年の企画として、折り鶴の制作、奉納とフェアの応援歌を作成した。
- ・フェアの開催時期についてはこれまで何度か議論されており、アンケート等を実施しているが、回答数が登録団体数に比して少ないことや、その中でも意見は様々であるため方向性を決めかねている。現状次回はこれまでどおり2月に実施することになると思うが、この件については引き続き実行委員や参加団体の意見を聞きながら検討していきたい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・資料のうち、2月8日(土)にリドレ横須賀で行ったPRイベントの説明については記載と実際の状況は違ったのではないか。
- 状況を確認し修正を行う。(指定管理者)
- ・PRの一つとして外にチラシを貼るなどはできないのか。
- 関係各所に申請する必要があるが、申請しても許可が下りないというのが現状である。(指定管理者)
- ・当日はどぶ板でもイベントがあるので、人の往来があるところでチラシ配布などしてみてもどうか。
- ・フェアのパンフレットについて、館内マップに番号を入れて団体の番号とリンクさせると、目的の団体の所にたどり着きやすいのではないか。エリアごとに色分けをするという方法もある。
- ・活動紹介のPRとともに、団体への加入のPRもしてみてもどうか。
- ・産業交流プラザまつりへの導線が分かりにくかったので、1階から3階までの導線をわかるように表示したほうがよいのではないか。
- いただいたご意見については今後の運営の参考にさせていただく。(指定管理者)
- ・会場はパネルがないことで見通しもよかったし、団体の展示も工夫されていて非常に良かった。来場者にも足を止めてよく見てもらえて、来館した学生も興味を持って見てくれていた。
- ・ミニ展示は館内から外向けに展示されていてよかったが、ポスターだけでなく、チラシも置けるとそのチラシの残数により団体への興味関心を計る目安になるのでは。
- ミニ展示の場所に関する周知も含め展示についてはいただいたご意見も踏まえ工夫の余地はあると考える。(指定管理者)
- ・産業交流プラザまつりの今後は。
- 今年度から指定管理者が変わったが、館長が実行委員会に入ってくれ協力ができた。現時点では未定。こちらとしては引き続き連携を取りたいと考えている。(指定管理者)
- ・建物の2階の共用部分で何かできないのか。
- 過去に実施した経緯はある。交渉の余地はあるが他のテナントとの問題もあるので必要に応じて管理組合に相談する。(指定管理者)
- ・SNSに関する問題提起とはなにか。
- 参加団体説明会の時に参加団体からSNSへの写真の投稿について実行委員会でルールを定めてほしいという意見があった。ルールとしては実行委員が記録として撮影した写真をSNSに上げる際はのたろんフェアのアカウントから掲載し、実際に上げる際には実行委員長と事務局で写真等のチェックを行うこととしたが、残念ながら徹底できなかった。(指定管理者)

1-(3) 令和2年度事業計画について

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・次年度が今期指定管理の最終年度となるので協定や仕様書に基づき計画を着実に実施していく。
- ・施設管理業務については根幹となる業務であるが、利用者に安心して心地よく使ってもらえるように環境を整え利用者の増に繋げたい。
- ・多目的ルームの活用についても市と検討していきたい。
- ・のたろんWEBのリニューアルを実施する予定である。
- ・各団体等との連携についても引き続き実施していく予定。

- ・のたろんカレッジについて強化したいと考えている。具体的にはホームページの立ち上げ支援として JIMDO 講座を開催する。
(懇話会構成員からの質問・意見)
- ・ JIMDO とは何か。
→ホームページを作成するためのツールの一つである。3時間×2回を1セットとして、ホームページの立ち上げからWEB上のレイアウト修正とホームページのWEB上への掲載までを支援する講座となる。有料の講座となり、講師は既に実績のある方をお願いしている。(指定管理者)
- ・多目的ルームの活用について費用等はどうなるのか。
→広さに限りがあるということも踏まえ今後市と調整していく予定である。(指定管理者)
- ・コロナウィルスによる次年度への影響は。
→市の方針としては、現時点で6月末までの市主催のイベント等のうち不特定多数が集まるような大規模なものについては中止あるいは延期するという対応を原則としており、施設を閉めるということまでは決まっていない。今後の感染拡大状況によってはのたろんフェアのようなイベントの開催については検討対象となる可能性はある。(市民生活課)
- ・市のホームページには外部団体が市の施設で行う場合にも自粛が望ましいという記載もあったが。
→外部団体のイベントについては、実際には主催の団体と調整することになる。(市民生活課)
- ・現時点では6月末までということだが、6月までにサポートセンターの関係するイベントは何があるか。どれくらいの来場があるか。
→該当するイベントとしては「こたろんフェア」がある。これらは屋外のイベントであり4団体の作業所が外にテントを張って開催している。サポセンは喫茶コーナーを交流サロンに設置しているが、利用者は1日あたり50人程度ではないかと思われる。カレーフェスティバル等のイベントについては、主催者からの依頼によりボランティアを派遣するという対応なので、主催者の判断に委ねることとなる。今後は何かあれば市と対応を協議することとなる。(指定管理者)
- ・写真コンクールの発表はどのような形で行うのか。
→のたろんフェアの報告展示を館内で行うので、その場で発表する。(指定管理者)
- ・情報誌をみて興味を持ってくれた学生(大学生)が活動に参加してくれた。
- ・この議題については来年度の懇話会でも取り上げる予定。(座長)

2 議題

2-(1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・削除団体のうち助け合いの団体については住民主体の活動であり、削除の理由が人数が少ないためとなっている。団体の意思であるためやむを得ないとはおもうが、サポートセンターとしてセーフティネットになることはできなかったのか。

→サポートセンターへの登録は削除となったが、活動自体は継続されていると思われる。削除理由の中にはサポセンから届く各種お知らせが不要であるという理由もある。詳細は確認する必要があるが、背景等も含めて団体に確認してみたい。(指定管理者)

3 その他

3－（１）令和２年度運営懇話会開催日時について

市民生活課から資料５に沿って説明した。

（市民生活課）

・欠席の方には市から確認を行うが、現時点で都合が悪い方がいなければこの日程とさせていただきます。

（懇話会構成員からの質問・意見）

・特になし。

連絡事項

（市民生活課）

- ・令和２年２月１５日に市制施行記念式典にて市民表彰があった。市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者に３団体を推薦いただき、「横須賀囲碁連盟」「横須賀手話勉強会 ひまわり会」「NPO法人 よこすかパートナーシップサポーターズ」が表彰された。
- ・市民協働推進補助金・市民協働モデル事業公開プレゼンテーションについて案内を行った。

以上